

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和元年11月11日（月）

### 2 確認箇所

- ・ H3タンクエリア道路横断部等
- ・ 1／2号機共用排気筒（1／2号機開閉所前から確認）

### 3 確認項目

- （1）道路横断部残置配管管理の状況
- （2）1／2号機共用排気筒解体工事の状況

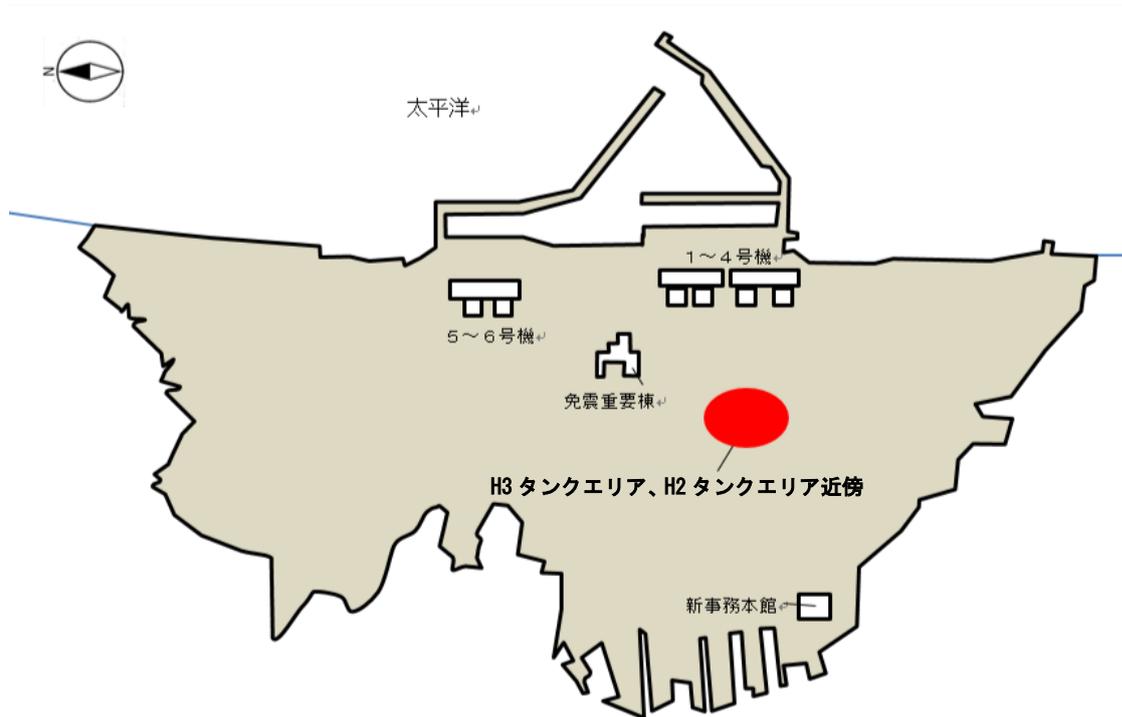
### 4 確認結果の概要

#### （1）道路横断部残置配管管理の状況について

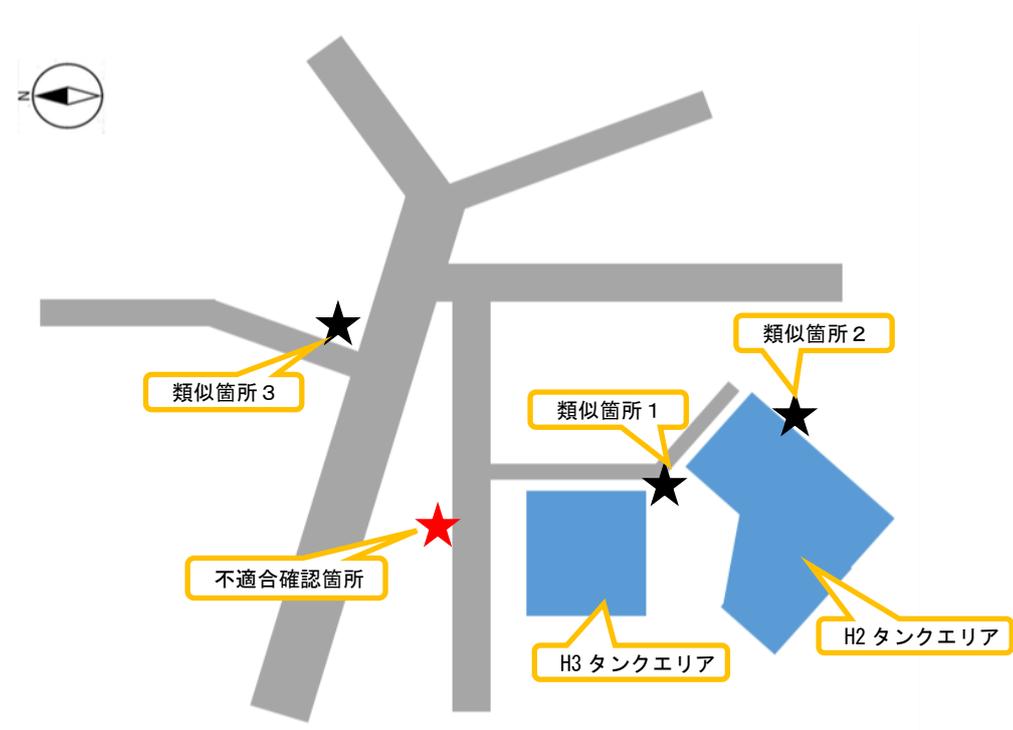
令和元年10月7日に、H3タンクエリアの道路横断部で溜まり水のある残置配管が発見され、翌日に残置配管の管理方法について不備があったとして不適合とされた。

その後、当該箇所の配管の撤去が行われ、さらに類似箇所についても配管の養生等の対策が行われたことから状況を確認した。（図1、図2）

- ・ 不適合確認箇所では残置配管が撤去されていた。（写真1）
- ・ 類似箇所1では、残置配管の先端がビニールで養生されており、配管内に水が溜まらないよう対策が取られていた。なお、配管には「水抜き済撤去OK」という表示がされてあった。（写真2）
- ・ 類似箇所2では、長さ数mの残置配管が仮置きされていた。なお、類似箇所1と同様に先端がビニールで養生されていた。（写真3）
- ・ 類似箇所3では、残置配管の先端のキャップが閉めてあり、さらにビニールで養生されていた。また、類似箇所1と同様に配管には「水抜き済撤去OK」という表示がされてあった。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図 (赤丸印が今回確認現場)



(図2) 図1 赤丸部分概略図

(不適合確認箇所周辺の状況)



(写真 1 - 1)  
東側から撮影  
赤丸部分にかつて配管が残置されていた



(写真 1 - 2)  
写真 1 - 1 赤丸部分拡大  
残置配管は撤去済み  
青色と銀色の配管は使用中の配管

(類似箇所 1 の状況)



(写真 2 - 1)  
北東側から撮影



(写真 2 - 2)



(写真 2 - 3)



(写真 2 - 4)

(類似箇所 2 の状況)



(写真 3)

北側から撮影  
配管は繋がっておらず、切り離された状態

(類似箇所 3 の状況)



(写真 4 - 1)

北東側から撮影  
赤丸部分に 3 本ずつ残置配管がある



(写真4-2)  
残置配管の状況の一例  
(吹き出し箇所の拡大図)

(2) 1/2号機共用排気筒解体工事の状況について

1/2号機共用排気筒解体工事は10月27日から4ブロック目の解体作業が開始され、11月7日に鉄塔(斜材)の切断が完了した。本日から鉄塔(主柱)の切断が開始される予定であったことから、現場の状況を確認した。

- ・鉄塔解体装置と主柱切断装置が2号機原子炉建屋西側に仮置きされており、作業員数名が各装置の点検を行っていた。なお、東京電力によると本日午前0時10分から開始された主柱切断装置取付作業中に鉄塔解体装置と吊り上げ用ワイヤーが接触し鉄塔解体装置と吊り上げ用ワイヤーの一部が損傷する事象が発生したとのことであった。(写真5)



(写真5)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。